学校番号	T3016

令和８年度　理　科

教科	理科	科目	科学と人間生活	単位数	２単位	年次	１年次
使用教科書	「高等学校　科学と人間生活」改訂版（啓林館）						
副教材等	特になし						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

観察や実験を通して、学習内容と日常生活の結び付きに気付く授業を実施します。それによって、理科が日常生活にもたらす豊かさや問題点に気付き、興味関心を高めましょう。中学校までの学習内容や、理科を学ぶために必要な基本的計算についても復習を行いますから、最後までついてきて下さい。なお、この科目は（通）科学と人間生活と一体の内容として授業を行います。

2　学習の到達目標

自然と人間生活とのかかわり及び科学技術が人間生活に果たしてきた役割について，身近な物事・現象に関する観察，実験などを通して理解させ，科学的な見方や考え方を養うとともに，科学に対する興味・関心を高める。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	科学と人間生活の関わりについて、基本的な概念や原理・原則を理解し、知識を身に付けている。	自然や生活の中に問題を見いだし、探究する過程を通して、事象を科学的に考察し、導き出した考えを適切に表現している。	日常生活や社会との関連を図りながら物理・化学・生物・地学に対し、関心をもち、意欲的に探究しようとする

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
前期	生命の科学	生物と光 A 植物の生育と光 B ヒトの視覚と光 C 動物の行動と光	a：小中学校の学習内容を踏まえ、生物の活動と光との関係について基本的な知識を身につけている。 b：光が人や動物、植物に与える影響について考え、記述で表現することができる。 c：植物の成長と光が密接に関係していることを調べ，日射による植物の生育と，その利用について生徒自身の生活一般に生かすことができるように主体的に探究することができる。	授業 プリント 定期 テスト ディスカッション	 定期 テスト ディスカッション	 ディスカッション
後期	物質の科学	材料とその再利用 A プラスチック B 金属 C セラミックス	a：小中学校の学習内容を踏まえ、身近にある材料の組成や化学構造と、人体への影響や環境問題との関わりについての基本的な知識を身に付けている。 b：様々な材料の化学的な特徴について理解し、人体や環境にやさしい取扱いについて判断して表現や行動ができる。 c：身近にある材料の組成や化学構造と人体への影響や環境問題との関わりについて生徒自身のこととして考え、意欲的に探究できる。	授業 プリント 定期 テスト ディスカッション	 定期 テスト ディスカッション	 ディスカッション

後期	光や熱の科学	熱の性質とその利用 A 熱とは何か B エネルギーの利用	a: 小中学校の学習内容を踏まえ、熱と温度やエネルギーに関する基本的な知識を身につけ、可能ならば熱と温度に関する基本的な計算方法についても身につけている。 b: 熱と温度やエネルギーに関する基本的な知識を身につけ、これら基礎知識とエネルギー問題を関連づけて考え表現できる。 c: 熱と温度やエネルギーに関する基本的な知識とエネルギー問題と関わりを生徒自身のこととして考え、意欲的に探究できる。	授業 プリント 定期 テスト ディスカッション	定期 テスト ディスカッション	ディスカッション
	宇宙や地球の科学	自然景観と自然災害 A 地震による景観と災害 B 火山の景観と災害 C 流水の作用による景観と災害	a: 小中学校の学習内容を踏まえ、自然景観と自然災害、断層や地震のメカニズムについて理解し、震度やマグニチュードなどの数値についての基礎知識を理解している。 b: 自然景観と自然災害、断層や地震のメカニズム、震度やマグニチュードなどの数値に関する学習項目を生かし、地震からの被害を出来るだけ小さくするように考え行動できる。 c: 自然景観と自然災害、断層や地震のメカニズム、震度やマグニチュードなどの数値に関する学習項目を生徒自身のこととして考え、意欲的に探究できる。	授業 プリント 定期 テスト ディスカッション	定期 テスト ディスカッション	ディスカッション

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度